

**令和7年度
社会福祉法人三重県厚生事業団事業報告**

第六次中期経営計画(以下、「第六次計画」という。)の最終年度である令和7年度は、1のとおり事業を展開し、同計画で目指した姿(理念・目標)の実現に向けて取り組みました。

その結果、第六次計画において、当事業団が運営する両施設の「達成目標」として掲げた各項目の達成状況や、経営目標ごとに掲げた主な取組の成果等は2のとおりとなりました。

「良質な支援を、必要とされる方々に一人でも多く提供し続けること」が、これまでも、そして今後も変わることのない私たちの存在意義ですが、令和7年度は、いなば園、身障センターとも後述の要因によって利用率等の目標を達成できず、また、これに伴って、事業活動における資金収支は黒字基調を維持できたものの、当期活動増減差額が赤字となるなど厳しい1年となりました。一方で、こういった状況乗り越えていくための取組を着実に進めるとともに、提供するサービス(質・量)及び経営基盤の立直しを計画的に進めるための第七次中期経営計画を策定するなど、巻き返しを図るための基盤固めの1年となりました。

厳しい状況は今しばらく続くと見込んでいますが、令和7年度に蒔いた種に、第七次中期経営計画に掲げた取組の着実な実施という形で水をやり、少しでも早く花を咲かせることができるよう、役員・職員一丸となって取り組んでまいります。

1 定款に定める事業の実施状況

- 三重県いなば園の自主経営に加えて、三重県身体障害者総合福祉センターの指定管理(第4期、令和7年度は第4期指定管理期間の最終年度)、さらには行政機関からの受託等で、定款に定める事業を次表のとおり展開しました。

		いなば園										身障センター		
		すぎのき寮	かしのき寮	もみのき寮	くすのき寮	プリズム	工房いなば	ドリームハウス	スマイルいなば	相談事業所	診療所	センター	診療所	支援施設
第一種	障害児入所施設				◎									
	障害者支援施設	◎	◎	◎										○
第二種	障害児通所支援事業					●								
	障害福祉サービス事業	◎	◎	◎	◎		◎	◎	●					○
	特定相談支援事業									◎				
	障害児相談支援事業									◎				
公益	身障センター											○		
	居宅介護支援事業													
	いなば園診療所										◎			
	身障センター診療所												○	◇
	日中一時支援事業	◎	◎	◎	◎									
	障がい者スポーツ推進事業												◇	
	高次脳機能障害支援事業												◇	
収益	運動施設貸出事業											○		

◎:自主事業 ○:県からの指定管理 ◇:行政からの受託等 ●:休止中の事業

- 上記の表に掲げた事業の具体的な実施状況(主なもの)は、次のとおりです。

<いなば園>

(1) 社会福祉事業

- ① くすのき寮においては、「障害児入所施設の経営」として、措置制度及び契約制度に基づき、福祉型のサービスを提供するとともに、「障害福祉サービス事業」として短期入所事業を実施しました。
- ② すぎのき寮、かしのき寮及びもみのき寮においては、「障害者支援施設の経営」として施設入所支援事業及び生活介護事業を実施するとともに、「障害福祉サービス事業」として短期入所事業を実施しました。
また、障がい特性等を踏まえた寮の再編成を進めました。
- ③ 多機能事業所工房いなばにおいては、「障害福祉サービス事業の経営」として、就労継続支援B型事業と生活介護事業を実施しました。
- ④ ドリームハウスにおいては、「障害福祉サービス事業の経営」として共同生活援助事業を実施し、近隣地域内において4つのグループホームを運営しました。
- ⑤ 相談事業所いなばにおいては、「特定相談支援事業の経営」及び「障害児相談支援事業の経営」として、障害福祉サービス利用時に不可欠なサービス等利用計画の策定を行うとともに、定期的なモニタリングを踏まえた支援を行いました。
また、「特定相談支援事業」に関しては、津市から地域生活支援拠点事業を受託し、緊急支援コーディネートの業務を担いました。

(2) 公益事業

- ① いなば園診療所においては、「診療所の経営」として、いなば園の利用者や地域で生活する障がい者の方々に精神科・内科・歯科の医療サービスを提供しました。
- ② 4寮においては、「日中一時支援事業」として、自宅等から通ってこられる方々に対し、日中の見守り及び各種活動の機会を提供するとともに、ご家族のレスパイト支援を行いました。
- ③ 津市津地域自立支援協議会委員及び障害者総合支援法に基づく障害支援区分の判定等を行う審査会委員として、桑名市、鈴鹿市、亀山市、津市、松阪市、三重郡へ職員を派遣しました。

<身障センター>

次の(1)~(3)に加え、

- ・三重県身体障害者総合福祉センターの第五期(令和 8~12 年度)指定管理者に選定されるとともに、
- ・令和 8 年2月9日付けで、三重大学医学部附属病院リハビリテーション科と、今後の身障センターの支援力や利用率の向上等に大いに寄与する取組等を内容とする連携協定を締結しました。

(1) 社会福祉事業

- ① 「障害者支援施設の経営」に関しては、指定管理業務として、施設入所支援、日中活動支援を実施しました。
- ② 「身障センターの経営」に関しては、指定管理業務として、次のとおり、身体障害者福祉センターA型事業を実施しました。
 - ア) 各種相談
 - イ) 障がい者スポーツの推進
(パラスポーツ指導員の養成、障がい者スポーツ教室の開催、全国障害者スポーツ大会への選手派遣、三重県障がい者スポーツ大会・スポレク祭の開催等)

内容	開催日・派遣期間	会場	人数
初級パラスポーツ指導員養成講習会	7月12日、13日、20日、21日	三重県身体障害者総合福祉センター	修了者：13名
中級パラスポーツ指導員養成講習会	I期：9月13日~15日 II期：11月22日~24日 III期：1月10日~12日	三重県身体障害者総合福祉センター 三重交通 G ス	修了者：11名

		ポーツの杜 鈴鹿 水泳場	
第24回全国障害者スポーツ大会「わた SHIGA 輝く障スポ 2025」	10月23日～28日 (大会期間：10月25日～27日)	滋賀県内	個人競技 選手31名、役員34名 団体競技 選手16名 役員5名
2025 三重県ふれあいスポレク祭	6月14日	四日市ドーム	参加者592名 スタッフ127名 観客(付添含む)258名 計 977名
三重県障がい者スポーツ大会フライングディスク	5月31日	三重県身体障害者総合福祉センター	参加者323名 スタッフ184名 観客(付添含む)163名 計 670名
三重県障がい者スポーツ大会陸上競技	10月4日	三重交通 G スポーツの杜 伊勢 陸上競技場	参加者167名 スタッフ145名 観客(付添含む)259名 計 571名
三重県障がい者スポーツ大会バレーボール(精神障害の部)	11月8日	三重交通 G スポーツの杜 鈴鹿 体育館	参加者32名 スタッフ13名 観客(付添含む)20名 計 65名
三重県障がい者スポーツ大会ボウリング	11月29日、30日	津グランドボウル	参加者152名 スタッフ77名 観客(付添含む)117名 計 346名
三重県障がい者スポーツ大会卓球	STT：1月25日 一般卓球：2月7日	三重県身体障害者総合福祉センター	参加者73名 スタッフ85名 観客(付添含む)41名 計 199名
三重県障がい者スポーツ大会ボッチャ	2月14日	三重県身体障害者総合福祉センター	参加者19名 スタッフ27名 観客(付添含む)27名 計 73名

ウ) 福祉用具フォーラムの開催

令和7年11月14日、三重県身体障害者総合福祉センターにて開催。参加者数313名。

(2) 公益事業

- ① 「身障センター診療所」事業に関して、指定管理業務として、医師、看護師、各療法士を有する診療所を運営し、さまざまな障がい者の方に対して、医療保険及び介護保険制度に基づくリハビリテーション等を実施しました。
また、三重県から「医学的評価・診断業務」を受託し、県障害者相談支援センターと連携して、障がい者の方の補装具支給に関する医学的評価(初期評価・完成適合評価)を行いました。
- ② 「障がい者スポーツ推進事業」に関しては、三重県から事業を受託し、三重県開設の「三重県障がい者スポーツ支援センター」で、障がい者スポーツの裾野の拡大を目的とした障がい者スポーツへの参加機会の提供、障がい者スポーツコンシェルジュによる総合窓口事業等を行いました。

- ③ 「高次脳機能障害支援事業」に関しては、三重県から「高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業」を受託し、高次脳機能障害支援コーディネーターの配置、「三重県高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業相談支援体制連携調整委員会」の設置、さらには、支援プログラム等を活用して高次脳機能障がい者（児）の社会復帰支援、支援計画の策定、継続的な相談支援等を実施しました。

(3) 収益事業

- ① 「運動施設貸出事業」に関しては、指定管理業務として、運動場等の貸出しを行いました。
【貸出実績】・テニスコート 327 件 ・グラウンド 149 件 ・体育館 819 件

<法人事務局>

法人事務局では、財務・経理・人事・労務管理など法人の経営全般に関わる中核部署として、いなば園及び身障センターの事業展開を支えました。

また、第六次計画の最終年度であることから、法人事務局が中心となって次期中期経営計画案を策定して、理事会に諮りました。

(主な事業)

- ① 会計事務の正確性及び信頼性を確保するための税理士事務所への顧問委託
- ② 決算における監査法人による外部監査の受審と情報公開
- ③ 職員採用のための職場説明会の開催や就職フェアへの出展
- ④ 人材育成ビジョンを踏まえた各種研修

【事務局主催の研修】

研修名	実施日	研修内容
新入職員研修	4月1日 4月2日	法人の理念・組織・制度の理解、支援の基礎知識の習得等、外部機関による接遇マナーの習得
専任職登用時研修	4月3日	広い視野を持った高度な支援技術、専門的知識の習得
管理職(副課長・副寮長)昇格時研修	4月8日	管理職としての姿勢、知識の習得
管理職(課長・寮長)昇格時研修	4月8日	管理職としての姿勢、高度な知識の習得
管理職(次長・部長)昇格時研修	6～11月	組織における経営の改善、課題解決型研修
中堅職員研修	9月	高度な経営情報、サービス技能の習得
採用後6か月研修	10月8日	虐待防止と支援の振り返り、より高度な利用者支援の理解
課題別法人研修(管理職研修)	4月8日	マネジメント力の向上(労務管理等)
課題別法人研修(コンプライアンス研修)	6月11日 6月25日	職員全体に共通する事項、課題等に関する研修 (人権、経営、コンプライアンス等)
課題別法人研修(会計研修)	10月9日 10月22日	
課題別法人研修(人権研修)	11月12日 12月17日	

- ⑤ 事業団の魅力をより多くの方に知っていただくための広報活動を実施しました。

ア) ホームページや SNS による情報発信

イ) 施設見学会や説明会の実施

ウ) 福祉の就職フェア及び就職ガイダンス等の参加

- ・第1回福祉の就職フェア(於：メッセウイング NHW、令和7年6月22日)
- ・第2回福祉の就職フェア(於：プラザ洞津、令和7年12月14日)
- ・福祉のシゴト説明会(於：皇學館大学、令和7年12月17日)
- ・福祉の就職ガイダンス(於：プラザ洞津、令和7年12月14日)
- ・就職対策講座(於：三重短期大学、令和7年12月11日)

2 目標の達成状況等

(1) 第六次計画に掲げた各施設の利用率目標等の達成状況

- 1の事業を実施した結果、利用率目標等の達成状況は次のとおりとなりました。

① いなば園

虐待防止に係る取組に注力するとともに、成人入所施設における寮の再編成を推進するため、新規受入れを控えた結果、利用率は低下しました。

項目	種類	目標値	R6	R7	増減
施設入所の利用率	成人(すぎのき寮・かしのき寮・もみのき寮)	97%	90%	87%	3ポイント減
	児童(くすのき寮)	95%	78%	79%	1ポイント増
日中活動の利用率	成人(すぎのき寮・かしのき寮・もみのき寮)	97%	89%	87%	2ポイント減
	通所(工房いなば)	93%	72%	68%	4ポイント減
	通所(スマイルいなば)	85%	53%	—	—
	児童通所(プリズム)	93%	75%	—	—
短期入所利用日数	成人(すぎのき寮・かしのき寮・もみのき寮)	350日/年 (実人数20人/年)	985日/年 (実人数80人/年)	596日/年 (実人数61人/年)	389日減
	児童(くすのき寮)	30日/年 (実人数10人/年)	56日/年 (実人数19人/年)	115日/年 (実人数18人/年)	59日増
	スマイルいなば	3,200日/年 (実人数55人/年)	2,498日/年 (実人数263人/年)	—	—
グループホームの利用率	ドリームハウス	99%	82%	78%	4ポイント減
計画相談契約件数	相談支援いなば	500件/年	428件/年	466件/年	38件増
診療所の利用者数	三重県いなば園診療所	3,300人/年	3,758人/年	3,936人/年	178人増

② 身障センター

日中活動系サービス利用率及びリハビリテーション実施件数については、個室化工事に伴う受入調整等の影響により目標には至りませんでした。医療機関との連携強化、退院前相談の再開、関係機関とのネットワークを有する職員の配置やアルムナイ採用等により、利用促進に向けた体制強化を進めました。また、障がい者スポーツ大会についても、天候等の影響により目標には届きませんでした。関係者の意見を踏まえ、次年度に向け案内方法等の改善を進めています。

項目	目標値	R6	R7	増減	
障害者支援施設	施設入所の利用率	90%	81%	68%	13ポイント減
	日中活動系サービスの利用率	80%	66%	56%	10ポイント減
	地域生活移行率 (地域生活移行者数/退所者数)	90%	82%	89%	7ポイント増

身体障害者福祉センターA型	リハビリテーションの実施件数	5,300 件 / 年	3,751 件 / 年	4,431 件 / 年	680 件増
	障がい者スポーツ大会・スポレク祭参加者数	3,500 人 / 年	2,909 人 / 年	2,901 人 / 年	8 人減
	地域からの要請により開催する障がい者スポーツ教室等の回数	50 件 / 年	70 件 / 年	30 件 / 年	40 件減
	福祉用具相談指導件数	350 件 / 年	222 件 / 年	226 件 / 年	4 件増

(2) 第六次計画に掲げた経営目標ごとの主な取組の成果等

- 1の事業の実施に際しては、第六次計画で経営目標ごとに掲げた取組を行いました。主な成果等は次のとおりです。

(注) ①～⑤に記載の目標は、第六次計画や令和7年度事業計画を踏まえ、当事業団の各年度の執行方針として示したマネジメントシートに掲げた目標(挑戦的なものも含む)です。

① 経営目標Ⅰ 障がい者の人権擁護と自立支援

【取組Ⅰ-1】人権を尊重する良質なサービス提供

「三重県いなば園虐待防止改善計画」に基づく各種取組を進めるとともに、同計画の最終年度にあたることから、いなば園において虐待事案を発生させてしまったことも踏まえてこれまでの取組を総括し、同計画の内容を一部変更したうえで期間を延長して令和8年度以降も取組を進めることにしました。

【取組Ⅰ-2】利用者の自立支援

個別支援計画(居宅サービス計画)に基づいて支援を行い、次のとおり、地域移行を進めました。

(いなば園)

	R6	R7
目標	成人3人 児童5人	成人2人 児童5人
実績	成人3人 児童3人	成人1人 児童2人

(身障センター) *再掲

	R6	R7
目標	90%	90%
実績	82%	89%

② 経営目標Ⅱ 利用者には選ばれる質の高いサービスの提供

【取組Ⅱ-1】サービスの質の向上

利用者や家族に対するアンケートを行った結果、次のとおり、高い満足度を得ました。

(いなば園)

	R6	R7
目標	93%	93%
実績	96%	90%

(身障センター)

	R6	R7
目標	92%	93%
実績	93%	92%

【取組Ⅱ-2】 職員の資質向上

人材育成ビジョン(R4.4 改定)に基づき、新たな資格や上位級の取得を奨励した結果、新規資格取得者数は次のとおりでした。

	R6	R7
目 標	12 人	5 人
実 績	12 人	6 人

【取組Ⅱ-3】 施設設備の見直し

事業団を取り巻く環境の変化等を踏まえ、いなば園の再整備計画等に基づく施設整備について、同計画を見直すこととし、令和 8 年度において理事会に諮るべく、今後のいなば園のあり方とこれを踏まえた施設再整備の方向性の検討を進めました。

また、身障センターについては、県が次年度に予定している個室化工事に関し、工事期間中の施設運営や機能の維持向上に係る具体的な提案を行いました。

このほか、施設・設備の改修等や業務ソフトの見直し、ICT 導入に努めました。

③ 経営目標Ⅲ 地域社会への貢献

【取組Ⅲ-1】 共生社会づくりへの参画

地域の要請等を受け、知識や高い専門性を有する職員を、市町審査会委員や各種研修の講師として派遣しました。

また、教育機関等の単位実習やボランティアを積極的に受け入れました。

(いなば園) ボランティア等の受入れ

	R6	R7
目 標	410 人	400 人
実 績	369 人	252 人

(身障センター) ボランティア等の受入れ

	R6	R7
目 標	335 人	335 人
実 績	234 人	388 人

【取組Ⅲ-3】 地域との交流

いなば園では、新型コロナウイルス感染症の感染防止を優先しながら、園内行事への地元住民の招待や近隣の幼稚園、学校等との交流を行うとともに、榊原の地域振興を考える会に参画・協力しました。

- ・納涼祭 7 月 19 日
- ・ふれあい祭り 10 月 18 日

また、令和 7 年度より、施設運営に外部の視点を入れることを目的として、利用者、家族、地域住民の代表者、障がい福祉の知見を有する市町担当者にも参画いただいて、地域連携推進会議を開催することとしました。

- ・会議開催日:すぎのき寮 第 1 回:9 月 2 日、第 2 回 10 月 10 日
かしのき寮 第 1 回 9 月 2 日、第 2 回 11 月 10 日
もみのき寮 第 1 回 10 月 10 日、第 2 回 11 月 10 日
ドリームハウス 第 1 回 3 月 31 日
- ・会議の成果:施設及び提供サービスの説明並びに施設見学を実施し、地域住民の理解促進につながりました。
- ・会議開催日:身障センター 第 1 回:12 月 18 日
- ・会議の成果:施設及び訓練見学を実施し、施設の役割や障がいへの理解、並びに医療と福祉が連携した支援について、地域の皆様に理解を深めていただく機会となりました。

【取組Ⅲ-4】コンプライアンスの推進

全職員を対象としたコンプライアンス研修を実施しました。

- ・開催日:6月11日、6月25日
- ・テーマ「情報セキュリティの基本について」 133人参加

④ 経営目標Ⅳ 経営基盤の安定

【取組Ⅳ-1】収支均衡のとれた自立経営

いなば園の成人3寮で障がい特性等を踏まえた再編成を進めていることや、身障センターと特定の医療機関との連携協力関係を再構築中であること等から、両施設とも利用率が伸びず、これに伴う収入も厳しいものとなりました。

また、経費節減や県等からの支援確保に努めましたが、物価高騰等の影響をカバーしきるまでには至りませんでした。

これらの結果、身障センターの赤字が大きく影響し、事業団全体では事業活動資金収支差額は黒字を確保できたものの、当期活動増減差額が赤字となりました。

(事業活動資金収支差額及び当期活動増減差額)

	R6	R7
事業活動資金収支差額	196,828 千円	95,331 千円
当期活動増減差額	85,470 千円	△19,956 千円

(参考)

第五次中期経営計画中の当期活動増減差額:135,861～204,827 千円

【取組Ⅳ-3】経営改革による持続的で活力ある経営

法人全体から各職場・職員に至るまで目標や役割を明確にして PDCA サイクルによる継続的な改善を図っていくよう、経営改善委員会(旧・マネジメント力向上委員会)を設置し、処遇改善、各種制度や規程等の検討などを進めました。

(主な成果)

- ・新卒採用者の給与改善
- ・副課長及び副寮長の処遇改善 など

⑤ 経営目標Ⅴ 運営体制と人材育成の強化

【取組Ⅴ-1】計画的・総合的な人材の採用・育成・定着

福祉人材の全国的な不足と採用競争の激化、若手職員の早期離職など厳しい環境にあること等を踏まえ、採用試験実施時期の柔軟化やアルムナイ採用制度の新設等に取り組みました。

【取組Ⅴ-3】適切な処遇改善と安全で安心な職場環境づくり

職員アンケートを実施し、結果を踏まえて、設備の改修等の改善を行いました。

また、現場マネジメントのための対応ガイドラインを整備するなど、ソフト面でも安全で安心な職場づくりを推進しました。

(職員満足度)

	R6	R7
目標	80%	80%
実績	61%	76%

(3) 事業・経営等に関する自己評価

- ・ 上記を踏まえ、「県の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例」第9条の規定に基づいて三重県が示している評価の視点等に照らして、令和7年度の事業や経営状況等に関して自己評価を行った結果は次のとおりです。

	R6		R7	
	比率	評価	比率	評価
目的	95	A	95	A
経営計画	80	B	85	B
事業	56	C	76	B
経営状況	96	A	80	B

A:良好な事象や傾向がみられる B:やや良好な事象や傾向がみられる C:改善を要する D:大いに改善を要する

3 理事会、評議員会等の開催

(1) 理事会

業務執行の決定機関として、理事会を開催しました。

	開催期日	審議内容
第129回理事会	令和7年 5月28日	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度事業報告及び決算の承認について 令和7年度定時評議員会の招集について 令和7年度定時評議員会の議案及び報告の提案について 評議員選任・解任委員会委員の決定について 評議員選任・解任委員会委員の決議の省略について 評議員候補者の推薦について
第130回理事会	令和7年 6月17日	<ul style="list-style-type: none"> 理事長の選定について 業務執行理事の選定及び業務について
第131回理事会	令和8年 3月16日	<ul style="list-style-type: none"> 第七次中期経営計画の策定について 諸規程の改正について 令和7年度補正予算について 令和8年度事業計画及び予算について 役員等賠償責任保険の契約内容について

(2) 評議員会

法人運営に係る重要事項を議決するため、評議員会を開催しました。

	開催期日	審議内容
令和7年度定時評議員会	令和7年 6月17日	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度決算の承認について 役員を選任について

(3) 監査

理事の職務の執行について各種監査を実施しました。

監査名	期日	監査内容
監事監査	令和7年 5月22日	令和6年度事業及び決算監査

4

各種団体への参加等

次の団体に加入して社会福祉法人に係る課題について議論・情報共有するとともに、全国組織を通じて国等に対して提言・提案等を行うなどしました。

- ・全国社会福祉法人経営者協議会
第44回全国大会(於：福岡県、令和7年9月18日～9月19日)
- ・三重県社会福祉法人経営者協議会
令和7年度第1回総会(於：津市、令和7年7月3日)
令和7年度第2回総会(於：津市、令和8年2月16日)
- ・全国社会福祉事業団協議会東海北陸ブロック事業団
令和7年度第1回会議(於：愛知県、令和7年7月18日)
令和7年度第2回会議(於：福井県、令和8年2月5日～2月6日)